

高1 大学入試はもう始まっている 競争の場は全国

1. 受験の準備は早期化

大学入試の形式は大きく以下の3つに分類されます。

一般選抜	主に学力試験で選抜を行う入試。旧入試と比較して「思考力・判断力・表現力」を問う問題が充実する。
学校推薦型選抜	原則として在籍高校長の推薦を受けることで受験する入試。旧指定校推薦および旧公募制推薦。
総合型選抜	AP（アドミッション・ポリシー）に基づき受験生の適性や志望動機を書類選考・面接などで選抜する入試。旧AO入試。

種類としてはこれまでと大きく変わってはいませんが、その比率は変わっています。具体的に言うと「一般選抜」の比率が下がり、「学校推薦型選抜」「総合型選抜」の比率が年々上がっています。以下は30年前の入試と、今から2年半後の入試の比較です。

●1990年代の大学入試（お父さん、お母さんのころの大学入試）

推薦入試 約20%	一般入試（学力試験） 約80%
--------------	--------------------

1990年代、お父さん、お母さんの大学入試は約80%が一般入試（学力試験の一発勝負）でした。推薦入試は「学校の成績が特に優れていた一部の人が受けられる試験」でした。大学を目指すほとんどの人が、一般入試を考えて学力試験対策に打ち込みました。

●2029年の大学入試（皆さんが受験する時の予測）

学校推薦型選抜・総合型選抜 約65%	一般選抜（学力試験） 約35%
-----------------------	--------------------

皆さんが大学を受験するころは、学校推薦型選抜・総合型選抜という推薦入試に類する入試の比率が半分をはるかに超え、65%程になることが予想されています（これは推薦入試比率が低い国公立大学を含めた数値なので、**私立大学に限定すればもっと高くなります**）。

このことから言えるのは、お父さん・お母さんの時は「大学入試は学力試験の一発勝負。学校の成績が良い一部の生徒は推薦入試を利用した」ものでしたが、皆さんの時は**「推薦型の入試が大学入試のスタンダードで、それが受けられない人が、少ない枠の学力試験にチャレンジする」**というものになるということです。これの難しいところは、一般選抜（学力試験）は一発勝負ですのでたとえば学校の勉強をある程度疎かにしていたとしても、思い立ったところから死に物狂いで勉強することで合格することも可能なのですが、皆さんが受験するころの**「推薦型の入試がスタンダード」**になると、**高校入学時からの取り組みが問われるため、「高2の冬で大学に行きたい気持ちが固まったので、そこから頑張る」では手遅れになる可能性が高い**ということです。

2. 難関大合格者の90%は高2で本格的受験勉強を開始。新入試では？

言うまでもなく、大学入試に向けた受験勉強は早期にスタートするほど有利です。難関大学（私立でいえばGMARCH・関関同立以上）に合格した人から取ったアンケートでは、90%が高2の段階で本格的な受験勉強を開始しています。英語では「卒業時の学習到達目標が英検®準2級レベルから2級レベル」に引き上げられており、負担が大きく上がっています。これらのことから「よし、自分も高2になったらしっかりやるか」と思った人は要注意です。みんなと同じではなく、「自分が勝てる選択」をしなければいけません。

3. 【2026年最新情報】新たな入試で、大学合格は英検®で決まる！

2024年冬、東洋大学、大東文化大学が年内に実施される「基礎学力型入試」をスタートしました。出願に成績基準が不要で、試験は「英語・国語」または「英語・数学」の2教科入試。内容も名称の通り基本的な問題で構成されます。教科負担が小さいことから、「推薦入試がダメだったら」「総合型選抜がダメだったら」という場合のラストチャンスに使える上に、合格すれば年明けの難関大に「合格校を確保してチャレンジできる」こともあり、今年度から一気に普及すると見られている新しい入試です（実は関西では以前から行われていました）。この入試では英検®を持っていると英語の負担が実質ゼロになるなど、事実上1教科入試になるような形も見込まれるため、これからの入試は「英検®2級を持っている」ことが極めて重要になると考えられます。高1の今から英検にチャレンジしていけば、大学入試が一気に有利になります。

4. 「まだ将来のイメージができない」そんなあなたは夏をこう過ごそう

目標もなく努力はできません。かといって待っていても目標は決まりません（ある日突然、天啓のように「自分は〇〇大学に行かなくては！」と思うようなことはありません）。ある程度自分で考えていかなければいけません。この夏、こんなことをやってみましょう。



たとえば「大学に行く」までは決まっているならば、まずは自分の知っている大学の公式 Web サイトを訪ねてみましょう。その大学でどのようなことが学べるのかを調べてみて、興味のわくものがあれば、「他にどの大学で学べるのだろう」と拡げていくと良いでしょう。そしてこの夏はオープンキャンパスに行ってみましょう！（3校見に行くと比較もできます）。



始まったばかりの高校生活、勉強だけでなく、様々な経験を積んで有意義なものにしたいにゃ！それでも2年半後には人生の大きな分岐点に立つので、その時に後悔しないような取り組みを早いうちから始めるにゃ！まずは中学からここまでの「ニガテ」を解決だにゃ！！